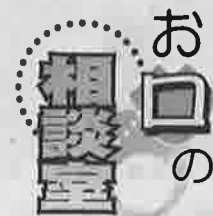


問題ないかまず相談を



【問い】以前、歯科医院で親知らずがあると指摘されました。その時は何も言われなかったのですが、疲労時に腫れるようになってきて気になっています。親知らずは抜いた方がいいのでしょうか。(長崎市、31歳女性)

【答え】通常、永久歯は上下左右7本ずつ、親知らずを含めると8本ずつの歯が存在します。しかし現代の日本人の顎の骨格は小さめです。親知らずが真っすぐ生えてくることは少なく、斜めに生えたり歯肉の中に埋もれたままだったりすることも多く見られます。親知らずの生える時期は10代後半〜20代前半が大半を占めますが、退化傾向にあるため、親知らず自体が全くない場合や1〜3本存在する場合もあります。

ではどのようなときに歯科医師が親知らずの抜歯を勧めるかというと、①重度のむし歯や歯周病になっている②生え方に問題があり、むし歯治療が困難③頬や歯肉、舌を傷つける原因になっている④清掃しにくく炎症やむし歯、歯周病になるリスクが高い⑤歯

また③のように斜めに生えた歯で周囲を傷つける状態が長期に及ぶと、口腔がんに進展するケースもまれにあるので注意が必要です。親知らずは必ず抜歯すべきというわけではなく、前述のケースに当てはまらず手入れも行き届くならば特に問題はないでしょう。相談者の場合、時折炎症も起こしているようですので、まずはかかりつけの歯科医師に相談してみてもいいかでしょうか。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒8552-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

親知らず抜くべきか

回答者 **森 奏子**
 長崎市古川町
 脈デンタルクリニック院長

